

新火葬場基本計画（案）報告について

本委員会は、新火葬場建設にあたり、施設の基本的な検討を行うため、関係区代表4名、有識者2名、公募委員2名を含む委員計9名及びオブザーバー3名により、検討を行いました。

市民に広く情報を開示するため公開で開催し、市ウェブサイトや報道でも取り上げて頂き、情報を公開しながら進めてまいりました。

また、会議は厳しい事業スケジュールの中、これまで3回の会議のほか、先進施設の視察及び会議を行い、新火葬場基本計画（案）について検討を行いました。ここに「新火葬場基本計画（案）」をまとめましたので報告します。

記

1. 検討内容と結果

- (1) 基本方針について
- (2) 平面計画「ユニット化」について
- (3) 諸室の計画について
 - ①車寄せ・玄関部分
 - ②告別・見送り・炉前・収骨スペース
 - ③待合室・待合ロビー
 - ④キッズコーナー・授乳室
 - ⑤霊安室
 - ⑥ペット炉及びお別れ室
 - ⑦多目的室
 - ⑧控室
 - ⑨作業室・制御室・事務室
 - ⑩火葬炉設備機械室
 - ⑪遊歩道・広場・展望スペース
 - ⑫駐車場
 - ⑬造成計画
 - ⑭進入路・アプローチ空間
 - ⑮その他
- (4) 配置・平面・断面計画について
- (5) 留意事項等

2. 今後に向けて

火葬場は、市民の生活に密接に関係する施設であり、その施設の基本的な事項を定めた新火葬場基本計画は、我々検討委員会の意見だけではなく、より広く意見を求めたうえで、最終的に行政により策定されるものと思います。

また、今後の施設の事業推進に際し、委員会での検討内容を踏まえ、特に要望する事項を、以下に示します。

要望事項

(その1)

施設整備基本方針に基づき、伊豆の国らしく、だれもが使いやすい施設となるよう、配慮してください。特に、富士山の眺望や周囲の自然を積極的に活かした施設とするとともに、施設の高さを抑えるなど、周囲からの見え方、景観、自然環境負荷低減に対し配慮をすることを望みます。

(その2)

プライバシーに配慮し、落ち着いた空間の中で最後のお別れができという、ユニット型の平面構成の利点を活かすとともに、明るく温かみのある施設としてください。また、施設の運営面についても、最後のお別れにふさわしいものとなるよう検討をお願いします。

(その3)

計画に盛り込んだとおり、直葬等に対応できる多目的室の設置やペット炉の設置など、今後さらに多様化していく葬送ニーズに対応できるような施設造りをお願いします。

伊豆の国市長 小野 登志子様

平成29年6月5日

新火葬場基本計画検討委員会

委員長

中川謙一